



はなのき

神坂小学校だより No.13 2024.3.22



「笑顔があふれて、仲良くできる学校」に

校長 伊藤 博章

早いもので、もう1年が過ぎようとしています。この1年間で、それぞれの学年は大きく成長しました。1年生は、いろいろなことが自分でできるようになり、2年生は、「自分でがんばる」という強い気持ちが見られるようになりました。3年生は、自分たちの生活をよりよくするために工夫できるようになり、4年生は、自分たちの努力する姿を見つめながら、高学年になる心構えをつくってきました。また5年生は、常に「最高学年になる」ことを目標に、リーダーとしてどのように行動するかを考えてきました。そして6年生。なかよし班遊びや掃除、委員会活動、運動会を初めとする行事の中で、リーダーとして自分の役割をやり切ろうと、お手本となる姿を示し続けることができました。

先日行われた6年生を送る会は、その成長や取組の成果が感じられるものでした。5年生が全体の指揮をとり、様々な工夫や知恵を出し合いながら会を企画・運営してくれました。発表したどの学年からも「ありがとう」の感謝を伝えたいという思いが強く伝わってくる素敵な会でした。いろいろなことに全力で取り組み、思いやりのある行動ができ、相手に感謝する気持ちを育ててきた6年生だからこそ、全校のみんなに慕われ、憧れを抱かれる存在になれたのだと思います。5年生から6年生に感謝を伝える言葉は、次のように締めくくられました。「私たちは、笑顔があふれて、全校が年齢に関係なく仲良くできる学校にしていきたいです。」力強い宣言に、来年度が楽しみになりました。



神坂小学校の子供たちは、新年度になると一つずつステージをアップします。そこで自信を持って活躍してくれることを願って、次の文を贈ります。

『あなた達はチャレンジャーなんだ』

人間はいつでも発展途上の段階です。特にあなた達の年代には、それが強く当てはまります。そんな時期において、自分で自分のワクの大きさを決めつけてしまうような淋しいことはしないで欲しいです。同じできないことでも、やってできないことと、やろうとしないからできないことの2種類があります。

「自分にはできない」と判断することは、やってみてからでも遅くはないです。今のあなた達の年代は、いろいろなことに挑戦し、経験する(できる)時なのです。あなた達は、いわばチャレンジャー(挑戦者)です。

確かに、新しいことに挑戦したら失敗するかもしれません。でも、失敗はしてはいけないのでしょうか？私は大いに結構だと思います。なぜならあなた達はチャレンジャーなんだから……。

大切なのは、失敗を恐れることではなくて、同じ失敗を繰り返さないためにはどうすればいいのか考えることではないでしょうか。そのことが次への成功につながるものであり、また、あなた達一人一人を大きく前進(成長)させるものだと思えます。

普段は目立たなくてもいいです。けれども、自分がこうだと決めたステージの上では、キラキラ輝ける人になってください。期待しています。

< 保護者や地域の皆様へ >

保護者や地域の皆様のご理解とご協力に支えられ、無事に一年を終えられることを大変うれしく思っています。来年度も、子供たちのよさを引き出し、学んだことを表現する力を高められるよう、職員一同精一杯取り組んでまいります。本年度同様ご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。一年間ありがとうございました。